

令和5年度

甲西高等学校 学校評価

本年度の重点目標

<p>【目指す生徒像】 「学習と部活動、学校行事などに全力で取り組み、確かな学力と豊かな心を身につけ、自分の夢に向かって主体的にチャレンジする生徒」 「他者への思いやりの心や社会性を身につけ、将来地域のリーダーとして社会に貢献できる生徒」 【努力目標】</p>	<p>1 全職員生徒の協力体制の確立と保護者・地域との連携 4 生徒の希望・能力・適性に応じた進路指導の徹底 7 人間尊重の教育の推進と人権教育の促進</p>	<p>2 基礎学力の向上と、積極的自発的学習態度の育成 5 部活動の振興と生徒の自主的な活動の尊重 8 SDGs（持続可能な開発目標）に基づいた取組の検討</p>	<p>3 生徒の自覚の上に立った生徒指導・生活指導の徹底 6 心身の健全な発達と健康管理・安全教育の徹底</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------

領域	重点評価項目	中間評価(10月)	総合評価(3月)	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1 学校経営	学校の教育目標、目指す生徒像等に基づき、教職員が連携し魅力ある学校づくりに取り組んでいる。	B	B	A
	学校運営協議会の設置等、保護者および地域と連携した学校経営を進めている。	B	B	A
2 学習指導	基礎学力の定着と思考力等の育成を図るため、生徒に分かる授業の実施等、授業の方法や内容を工夫している。	B	B	B
	「総合的な探究の時間」の取組等を通じて生徒が主体的に学びに向かう態度の育成に努めている。	B	B	A
3 生徒指導	基本的な生活習慣や、挨拶の励行等社会の基本的なマナーが身につくように指導を行っている。	B	B	A
	いじめを絶対に許さない学校づくりに取り組んでいる。	B	B	A
4 進路指導	学習意欲の向上や進路意識の高揚を図るための取組の充実や情報提供に努めている。	B	B	A
	生徒一人ひとりの希望進路実現のため、きめ細かな進路指導を推進している。	B	B	A
5 特別活動等	文武両道を目指して、部活動の充実を図っている。	B	B	A
	生徒会活動など特別活動の充実を図り、生徒の主体的な活動を推進している。	B	B	A
6 学校図書館	図書館新聞の発行等を通じて図書や図書館に関する情報を発信し、読書を奨励している。	B	A	A
	教科の学習や特別活動等に必要な資料を収集し、図書館の教育活動への利用を推進している。	B	B	B
7 保健・安全指導	生徒の健康管理と病気の予防に努め、危機管理を適切に行っている。	B	B	A
	健康・安全に対する意識の向上のために、「ほけんだより」等を通じて情報提供に努めている。	B	B	A
8 人権教育	あらゆる教育活動の中に人権教育の観点を取り入れ、生徒の人権意識の向上に努めている。	B	B	A
	個々の生徒に適切な支援が行えるようカウンセリング等教育相談体制の充実と努めている。	B	B	A
9 環境教育	日常的な清掃指導を通して美化意識を高めるとともに、教科指導等で環境保全に対する意識の啓発に努めている。	B	B	B
10 事務・管理	学習環境の整備に努め、安全で清潔な環境の保持に努めている。	B	B	A
	生徒の個人情報の管理を適切に行っている。	B	B	A
11 その他 学校の取組み	地域学習や地域でのボランティア活動の推進など地域に根ざした学校づくりに努めている。	B	B	B
	ホームページ等を活用し、教育活動や学校生活の情報等を生徒・保護者・地域に提供している。	B	B	B

(注)・評価表の見方： 6月 学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
10月 中間評価（自己評価）の公表（8月までの教育活動に対する中間評価）A B C Dの4段階評価で示す。
3月 総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）A B C Dの4段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・A B C Dの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はA、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はB、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はC、達成できていない場合（達成度40%未満）はDとする。

学校のURL：<http://www.kosei-h.shiga-ec.ed.jp/>

令和5年度 滋賀県立甲西高等学校 学校評価 分析と改善策

1 学校経営

- スクールミッションとスクールポリシーを踏まえ、湖南市および甲賀市と連携した各種教育活動や学校運営協議会の運営等を通して、保護者等や地域の期待と願いに応えるべく、魅力的な学校づくりに取り組んでいる。
- 学校の取り組み内容を、ホームページ等を活用し、保護者等や地域へさらに広報・周知することが課題である。

2 学習指導

- 朝学習や朝読書等の地道な取組の継続や、ICTを活用した主体的対話的で深い学びを実現する授業改善等を通じて、生徒の基礎学力の定着や、多様な進路希望に応えられるきめ細かな学習指導が行えている。
- 地元自治体や企業等と連携した「総合的な探究の時間」の取組は、一定、「甲西スタンダード」と言えるモデルが安定的に展開されているが、県域や全国をフィールドとしたよりスケールの大きなプログラムの開発が必要である。

3 生徒指導 および 8 人権教育

- 人権教育と有機的に関連した「いじめを絶対に許さない学校づくり」の充実が求められる。担任による個別教育相談のさらなる充実や、人権LHR・学年講演会等の内容や講師の選定についての工夫・見直しを検討したい。

4 進路指導

- 4年制大学、短期大学、専門学校、就職等、幅広い生徒のニーズや希望に応えられるよう、きめ細かな進路指導体制を構築している。一方、大学入試の変化が急速に多様化していることから、進路指導部や第3学年部のみならず、全校体制で進路指導の充実に向けた方策を絶えず研究することが重要である。

5 特別活動

- 部活動や学園祭を始めとする各種学校行事に全力で取り組む甲西高校生をさらに支援すべく、生徒会活動の充実や行事の前向きな見直しと工夫が求められる。生徒の学びの質をより高めるため、他校との交流等、新たな改善策を検討する。

1 1 その他学校の取組

- ホームページをさらに活用し、情報発信の頻度と内容について質的改善を図りたい。また、タブレット端末や効果的な授業(学習)支援ソフトウェアのさらなる活用を通じて、在校生の学びが柔軟に展開できるよう工夫を増やしたい。

